

New! 東大野球部

メールマガジン

Vol.88

じゅあーわー

厳しい寒さが続きますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

東大野球部では冬季オフも終わり、12日から練習が再開しました。気持ちも新たに、リーグ戦に向けて練習に取り組んでおります。部員一同、今年度のスローガン「勝」を合言葉に頑張つて参りますので、今後とも東大野球部を、どうぞよろしくお願ひ致します！

軟式球児にエール！



今回のメルマガでは、高校時代に軟式野球でプレーしていた選手に、大学から硬式野球を始めた理由、また、自分と同じように大学から硬式を始めようという軟式出身の高校生へのアドバイスをきいてみました。



↑左：石上投手、右：毛利投手(新4年・横浜翠嵐)

→未定捕手

石上 翔太(新4年・投手・栄光学園)

僕が大学から硬式野球を始めたのは、東京大学硬式野球部に入るのが昔からの夢だったからです。

最初は、硬球は軟球に比べると重いし手先だけではどうにもならないという感覚がありました。そのせいか肩や肘がずっと痛かったのですが、2年の夏頃から痛みが消えてきて、違和感なくボールを投げられるようになり、やっと「ここでやっていける」という感覚を得ました。

軟式はハンデでもなんでもありません。大学から始めるのなら、毎日インナーマッスルを鍛えておくことをお勧めします。軟式出身者は硬球をいきなり投げ始めるとどこか痛みが出てくる人がほとんどだと思つので、肩の怪我予防の意味でインナーをやっておくことは損ではないはずです。

未定 拓時(新4年・捕手・東大寺学園)

軟式出身だからといって硬式野球部を諦めるなんて勿体ない！自分も含め先輩の中には軟式出身者は結構います。臆せず硬式野球に挑戦しましょう。

自分が硬式野球を始めたときは、硬球になれる準備は必要だと感じました。ただ、受験勉強中は硬球を握っておくとか、勉強の合間にペットボトルでインナーを鍛えるくらいで大丈夫です。入部してからも硬球に慣れる期間は十分にあり、ケガをせずに徐々に慣らしていけるし、夏までには十分に慣れることができます。

生田 優人(新3年・外野手・仙台一)

自分は高校に硬式野球部がありました。そこまでの熱意は無く、軟式を選択しました。しかし神宮でプレーする東大の選手の姿に強烈に惹かれ、東大を目指しました。

入部当初、軟式球との違いはあまり感じませんでした。自分の下手さを感じてとても辛かったです。それでも本気で野球に打ち込めて、夢を追える環境に自分がいることは、非常に幸せに思います。

軟式球児の皆さんも、是非東大野球部を目指して下さい。そして、僕自身も春に必ずチームに勝利をもたらし、軟式出身でもここまでできるということを証明します。

山本 克志(新2年・内野手・聖光学院)

僕の母校である聖光学院高校には軟式野球部がなく、高校時代も軟式野球をしていました。大学で硬式を始めたのは、六大学で野球をすることが僕自身の夢だったからです。

最初は詰まったときの手のしびれなど、戸惑ったこともありましたが、今では軟式よりも打ちやすい硬式野球は非常に楽しいです。

軟式出身の選手でも、しっかりとしたスイングができていれば、大学で飛躍すること間違いなしです。僕自身も今年は昨年以上にチームに貢献できるように頑張ります。



↑ 山本克内野手

→ 生田外野手

クロスワード答え

前回のメルマガで配信いたしましたお年球企画に、今年もたくさんのご応募を頂きました。ありがとうございます。正解を発表させていただきます。

正解となる、助監督の名前は、

「いわさきさとういちろう」

でした。

1	ふ	2	ろ	や	き	ゆ	う		
3	や	く	4	と	5	こ	ん	は	
6	そ	ざ	7	だ	う	ん			
	ふ	8	わ	い	る	ど	9	び	ち
	と			が	い	う	な	10	す
11	ぼ	ー	く			12	か	13	は
	ー				14	ち	い	15	た
16	る	ー	き	ー			17	は	ま
		18	ほ	ー	む				ー



岩崎 総一郎助監督(H26年卒・県立浦和)

今年度、助監督を務めさせていただきました。ご支援、ご声援くださる皆様のおかげで、チームはなんとか、しかし着実に勝ちに向かって成長しています。このチームで必ず勝って皆様の期待に応えます。応援よろしくお願致します。

正解された方々、おめでとうございます。抽選の結果はメールでお送りしておりますので、ご覧ください。

このお年球企画は来年も行う予定ですので楽しみに！

編集後記

今回のメルマガはいかがでしたでしょうか。軟式出身であることは一見ハンデに思われますが、硬球への対策をとれば問題はなく、逆に練習の原動力となることもあるようです。東大野球部では、例えばエース、主将として活躍した前田善博投手(H23年卒・栄光学園出身)のように、軟式の出身で活躍した選手も複数います。ぜひ軟式出身の高校球児にも、東大野球部と一緒に神宮での勝利を目指してもらいたいものです。

凍るような寒さの日々が続きますが、どうぞお体にお気をつけてお過ごしください。今後とも東大野球部を宜しく願いたします。

お問い合わせ先

〒113-0023
東京都文京区向ヶ丘1-5-9 一誠寮
TEL&FAX 03(3811)5100
メールアドレス office@tokyo-boc.net

メルマガについてのご意見、配信停止のご希望がございましたら上記連絡先までご連絡下さい。

